

1. 委託訓練カリキュラム

| | | | | |
|----------------------------------|--|--|------------------------------|-------|
| 実施場所・施設名 | 企業組合労協センター事業団 砺波地域福祉事業所 砺波ぽぴー(砺波市宮森461番地) | | | |
| 訓練科名 | 123介護職員(初任者)養成科 | 就職先の職務 | 病院、老人施設等の介護業務、訪問介護事業所等の訪問介護等 | |
| 訓練期間 | 平成25年7月26日(金)～平成25年10月25日(金) (3か月) | 訓練人員 | 最少開講人員8名～定員20名 | |
| 訓練目標 | 介護従事者としての職業倫理と態度を養い、社会福祉及び関連領域の基礎知識と介護の技能・技術を習得する。 | | | |
| 仕上がり像 | 訪問介護事業所、病院、老人施設等での介護業務及びホームヘルプサービス業務ができる。 | | | |
| 目標資格 | 介護職員初任者研修課程修了・福祉用具専門相談員 | | | |
| 科目 | | 科目の内容 | | 時間 |
| 訓練の科目 | 職務の理解 | 多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解 | | 102時間 |
| | 介護における尊厳の保持・自立支援 | 人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護 | | |
| | 介護の基本 | 介護職の役割・専門性と多業種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全 | | |
| | 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | 介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障害者自立支援制度およびその他制度 | | |
| | 介護職におけるコミュニケーション技術 | 介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション | | |
| | 老化の理解 | 老化に伴うこころとからだの変化と日常、高齢者と健康 | | |
| | 認知症の理解 | 認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活、家族への | | |
| | 障害の理解 | 障害の基礎的理解、障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識、家族の心理、かかわり支援 | | |
| | こころとからだのしくみ | 介護の基本的知識、基本介護技術、介護に関するこころとからだのしくみの基本理解 | | |
| | 振り返り | 振り返り、就業への備えと研修終了後における継続的な研修 | | |
| 内容 | 特別講座 | 口腔ケア・手話講座・救命講習等 | | 16時間 |
| | 就職支援 | 履歴書の作成ポイント、模擬面接、職場でのコミュニケーション、オリエンテーションなど | | 31時間 |
| | 福祉用具専門相談員指定講習 | 老人保健福祉制度の概要、介護に関する基礎知識、介護技術、介護場面における福祉用具の活用、高齢者の心理、医学の基礎知識、リハビリテーション概要 | | 35時間 |
| 実技 | 介護実習 | 生活支援技術(生活と家事、快適な居住環境整備と介護、整容、移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠、終末期介護)、介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習、総合復習等 | | 144時間 |
| | 職場見学、職場体験、職業人講話 | 就職を想定される職種等の見学や体験、当該職種従事者による職業人講話 | | 18時間 |
| | 福祉用具専門相談員指定講習 | 福祉用具の活用に関する実習 | | 9時間 |
| 訓練時間総合計 355 時間 (学科184時間、実技171時間) | | | | |
| 主要な機器設備 | 介護用ベッド、車椅子、プロジェクター他 | 教材費等計 | 10,075円(別途健康診断料) | |
| 受講対象 | 初任者・他(程度) | 検定料計(任意) | | |